

夏の暑さを、 家の中に入れない。

遮熱シートで、
もっと快適な暮らしを。

暑さをカットして
心地よい空間へ

住まいも、家族も、
これからの夏をもっと快適に。



室内の
温度上昇を抑える



冷房効率UP
電気代の節約に



快適で
健康的な暮らしに

遮熱シートとは？

アルミの反射層と気泡状の空気層を組み合わせた
高性能な遮熱材です。太陽からの輻射熱を反射し、
建物の内部へ伝わる熱を抑えることで、
室内の温度上昇を軽減します。



アルミ反射層＋気泡の空気層で
高い遮熱効果を発揮します。

こんなお悩みありませんか？

- ☒ エアコンをつけてもなかなか涼しくならない
- ☒ 2階や屋根裏がとてもし暑い
- ☒ 夕方になっても室内に熱がこもっている
- ☒ 古い家で断熱・遮熱対策が十分でない
- ☒ 電気代を少しでも抑えたい



そのお悩み、遮熱リフォームで解決できる
可能性があります。

施工例

壁・天井・屋根下地に遮熱シートを施工。夏の暑さ対策に効果的です。



天井部分の施工



壁面の施工



施工後の室内(木の温もりが心地よい快適空間に)

築年数の経過した住宅にもおすすめ

築50年前後の住宅・従来工法の建物など、
断熱対策が十分でない建物にも
遮熱リフォームは有効です。
今ある建物を活かしながら、
快適な住環境へと改善できます。



戸建住宅



店舗・事務所



工場・倉庫

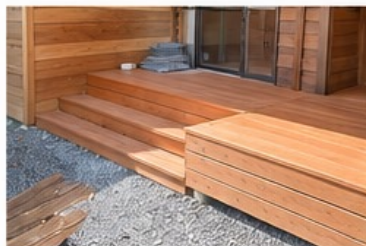
など、さまざまな建物に対応します。

庭に、くつろぎのウッドデッキ

外の空間を、もっと身近に。暮らしが広がるウッドデッキ。

自然に囲まれた場所でのんびり過ごす時間。
家族や仲間と過ごす楽しいひととき。
ウッドデッキは、住まいに“もうひとつのリビング”をつくれます。
木の温もりを感じる空間で、
アウトドア気分を気軽に楽しめます。

自然とつながる
心地よい時間



広々としたウッドデッキで
くつろぎの空間に



出入りしやすい段差設計で
使い勝手も抜群

ウッドデッキの魅力

- ☒ リビングとつながる開放的な空間
- ☒ 家族や仲間との憩いの場に
- ☒ お子様の遊び場として
- ☒ パーベキューやアウトドアを楽しめる
- ☒ 住まいの価値を高める外構リフォーム

暮らしを
もっと楽しく
もっと豊かに



住まいの快適さと、暮らしの楽しさを。 — 遮熱リフォーム × ウッドデッキ —



お気軽にご相談ください
現地調査・お見積りは無料です

遮熱シート施工による 内装リノベーション

築年数を重ねた建物に、室内側から「熱を抑える」という新しい選択。



POINT 01
アルミ反射層

POINT 02
気泡状の空気層

POINT 03
木の内装仕上げ

見た目の美しさだけでなく、壁・天井の内部に遮熱層を設け、室内環境の改善を目指した改修事例です。

見えなくなる部分こそ、丁寧に。

遮熱シート施工 | 下地工程

今回の改修では、天井面・外周壁面にアルミ反射層を持つ遮熱シートを施工。その上から木下地を組み、仕上げ材を施工しています。



天井面

屋根から受ける輻射熱の影響を考慮し、天井面へ連続して施工。



壁面

外周壁面にも遮熱層を設け、室内側へ伝わる熱の影響を抑える構成に。

遮熱材の特徴

使用した遮熱材は、アルミ層の内部に気泡状の空気層を持つ構造です。アルミ反射面と空気層を組み合わせることで、外部からの輻射熱の影響を抑えることを目的としています。



窓まわりや下地の取り合い部も、施工範囲に合わせて納めています。



仕上げ前の状態。遮熱層の上に木下地を設け、内装材を施工していきます。

遮熱層を包み込む、木の仕上げ。

施工中 → 完成



施工中



仕上げ進行

遮熱施工後は、無垢材を使用した木質内装で仕上げました。完成後、遮熱シート自体は見えなくなりますが、壁・天井の内部には遮熱層が残り、既存建物を活かしながら室内環境の改善を図る構成となっています。



既存の梁や建物の雰囲気を活かしながら、自然素材の質感と現代的な室内性能を両立させた空間へ。

築古住宅・オフィス・工場にも。

遮熱改修の活用イメージ

この施工方法は、築 50 年前後の簡素な構造の住宅や、断熱性能を十分に確保しにくい既存建物でも検討しやすい改修方法のひとつです。建物を全面的に解体せず、既存の柱・梁・屋根構造を活かしながら、室内側から遮熱性能を補うことができます。

築年数の経過した木造住宅

夏場の室温上昇が気になる住宅や、既存構造を活かして改修したい建物に。

古民家・離れ・作業場

柱・梁を残したまま、内装側から快適性の向上を検討できます。

オフィス・プレハブ事務所

天井裏が小さい建物や、日射の影響を受けやすい空間の対策に。

工場・倉庫

折板屋根や金属屋根など、輻射熱の影響を受けやすい建物への活用も考えられます。

遮熱の考え方

空調設備だけに頼って室温を下げるのではなく、建物へ入ってくる熱そのものを抑えるという考え方です。施工条件や建物構造によって効果は異なりますが、冷房負荷の軽減や室内環境改善につながる可能性があります。



施工構成：アルミ反射層＋気泡状の空気層を持つ遮熱材 → 木下地 → 木質内装仕上げ

※遮熱性能・省エネ効果は、使用製品の性能、施工方法、建物の構造、方位、開口部、空調条件などにより異なります。